

関西四大学「薬物に関する意識調査」集計結果 報告書

2014年11月

近年、大学生の大麻等不正薬物の所持・乱用による事件事故が相次いで発生したことから、特に若年層における薬物汚染が大きな社会問題に発展しました。警察庁の調べによると、2009年度の大麻摘発件数をピークに大麻事犯の検挙人員は年々減少を続けていますが、それでも、2013年度における全薬物事犯の12.0%を占めており、覚せい剤事犯に次ぐ薬物事犯として高比率で推移しています。また、大麻事犯の検挙人数は減少傾向にあるとはいえ、20歳代以下の若年層の検挙人員は依然として高い構成比率を推移しており、その多くが初犯者であるとされています。(2009年の大学生大麻事犯検挙人員は81名であり、そこから毎年減少し、2013年では23名となっています。)

こうした状況の下で、薬物に関する教育活動が各大学において喫緊の課題となっていますが、2009年3月7日、関西四大学は、薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、より広い視点に立ち、安全・安心の社会を実現するための教育・研究、そして社会的な活動が大学の使命ととらえ、薬物乱用防止のための恒常的・経常的かつ組織的な啓発活動を行い、広く社会に向けてその活動を展開していくことを宣言しました。

その具体策として、共同のアクションプランを企画し、共同声明の発表以降、3つのアクション「委員会の開催・設置」、「教育・調査活動」、「広報活動」を柱に各大学で様々な取り組みを実施してきました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催してきました。

こうした活動の一つとして、2009年10月から四大学共同の「薬物に関する意識調査」結果のとりまとめを行ってきました。この調査を継続して実施することにより、学生の薬物に対する意識と態度等、若年層における薬物事情の変遷を明らかにし、さらなる薬物乱用防止策の企画立案に役立つだけでなく、社会に対して警鐘を鳴らすことができるのではないかと考えています。そして、今回、これまでの調査とその結果を踏まえて、再び、四大学の新生入生にアンケート調査を入学式直後に実施しました。その結果、新生入生たちが大学入学以前から薬物乱用防止に関する教育を受けていることやさまざまな形で薬物についての情報に接し、一方でごく少数であっても薬物に接触する危険性を示す数字が明らかになりました。

また、昨今では服用した者が重篤な症状を起こして救急搬送されたり、重大な交通事故を引き起こしたりするなど、これまで「脱法ドラッグ」等と呼称されてきた薬物の乱用が大きな社会問題となっています。こうした現状を受け、政府はこの4月から薬事法を改正して対策を強化し、また、これらの薬物を「危険ドラッグ」と呼称を統一化し、その危険性を広く周知するなど様々な措置を講じております。「危険ドラッグ」の乱用拡大に伴い、薬物使用者の健康被害が発生するだけでなく、他者を巻き込む死亡事故を生じさせ、さらには麻薬等の使用に発展する危険性もあり、今後の動向に着目していく必要があります。

関西四大学では、2009年10月の報告書から続くこの調査結果から目をそらすことなく、今後さらに慎重に検討を加え、引き続き薬物乱用防止のための教育活動を展開していきます。加えて、他の教育機関の諸活動においても今回の調査結果が役立つことを願っています。

2014年11月

関西大学学長	楠見 晴重
関西学院大学学長	村田 治
同志社大学学長	村田 晃嗣
立命館大学学長	川口 清史

*本調査においては、政府が「脱法ドラッグ」等の薬物の呼称を「危険ドラッグ」に統一化すると発表（平成26年7月）する以前に実施したため、「脱法ドラッグ」という表現を使用している。

I 調査対象

対象者数 : 2014年度入学生 26,450名（関西四大学合計人数）
実施期間 : 各大学により定められた期間（2014年4月）
調査方法 : 紙媒体
回答数（率）: 22,421名（84.8%）

II 集計結果

各質問への回答状況は、次ページ以降のグラフ及び集計表のとおりである。

また、今回の調査では昨今の薬物事情を踏まえ、新たに「脱法ドラッグ」に関する質問項目を2つ設定のうえ調査を行った。（共通質問項目19及び共通質問項目20）

◇ 共通質問1 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。（1つに○）

<回答> 非常に関心がある 2.4%（前年度比±0%）
ある程度関心がある 26.8%（前年度比-0.5%）
どちらともいえない 24.0%（前年度比-0.2%）
あまり関心がない 18.0%（前年度比+1.7%）
ほとんど関心がない 28.6%（前年度比-0.9%）

「関心がある」と回答した層は減少傾向にあり、逆に「関心がない」と回答した層は増加傾向にある結果となり、薬物問題への関心が徐々に下がっていることが見受けられる。この減少傾向は調査を開始した2009年から続いている。

◇ 共通質問2 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。（複数回答可）

<回答> いわゆる脱法ドラッグ 51.4%（前年度比+1.3%）

2011年から増加傾向にあり、現在では半数以上が知っているという回答している。これは近年、脱法ドラッグが原因と見られる事件が多発し、頻繁にメディアに取り上げられた結果によるものと思われる。

【参考】2011年度：16.5% 2012年度：24.2% 2013年度：50.1%

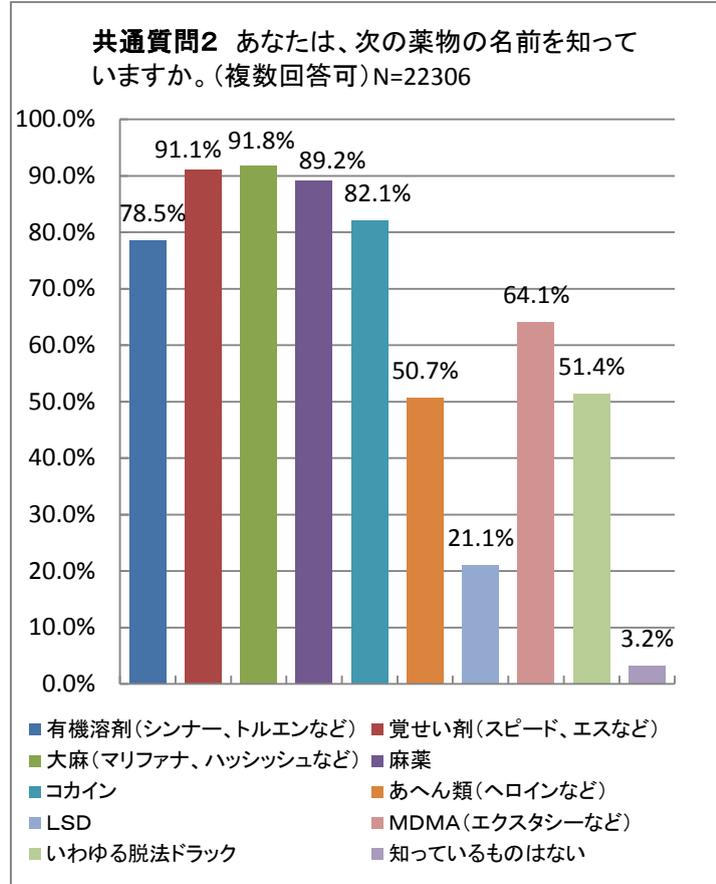
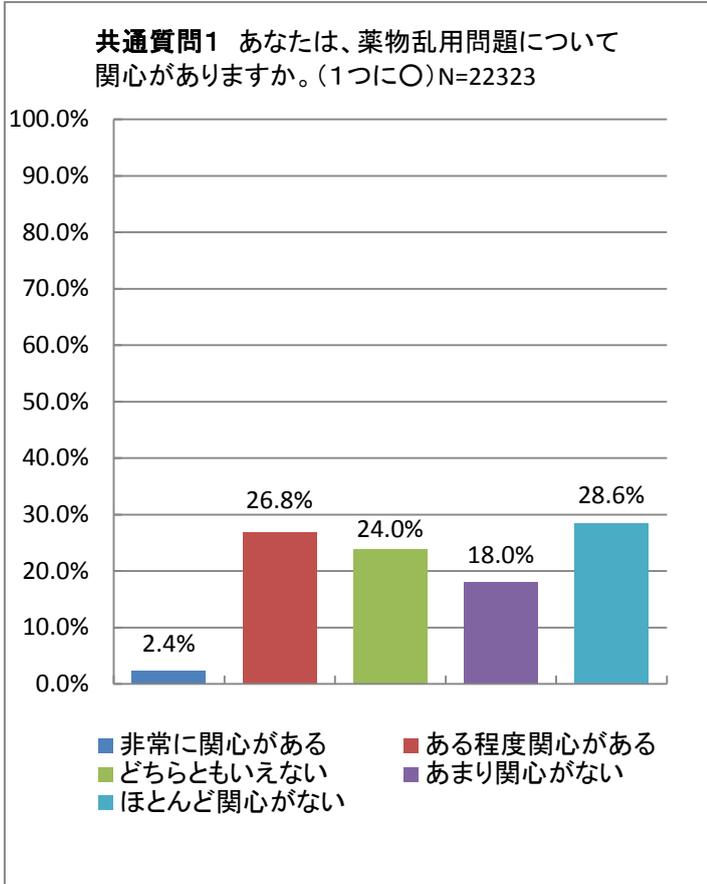
◇ 共通質問19 あなたは、いわゆる脱法ドラッグを使うことについてどのように考えていますか（1つに○）

<回答> どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない
88.5%（今年度より調査実施）
他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である
6.5%（今年度より調査実施）

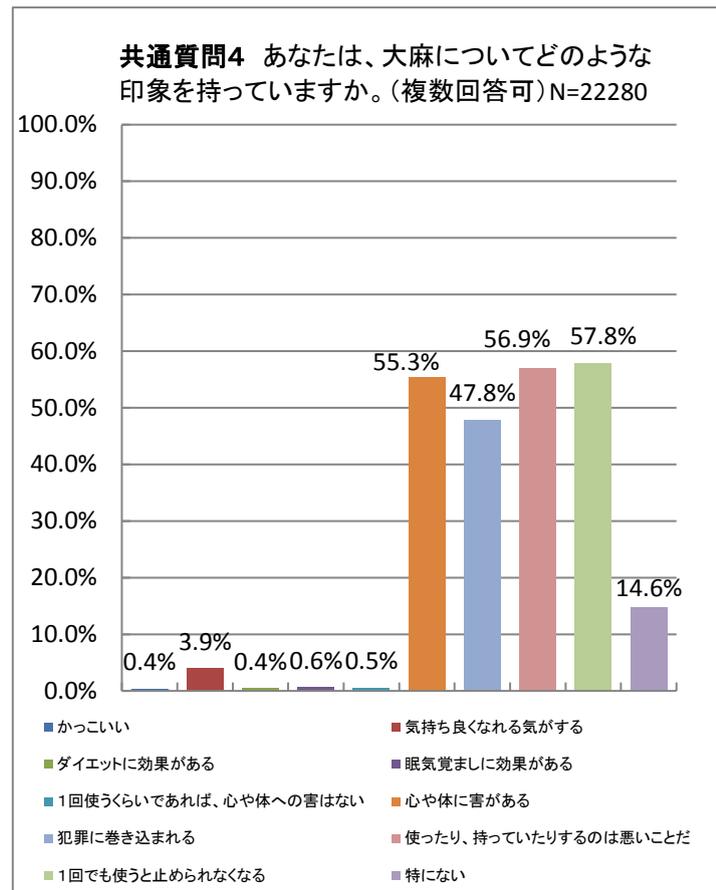
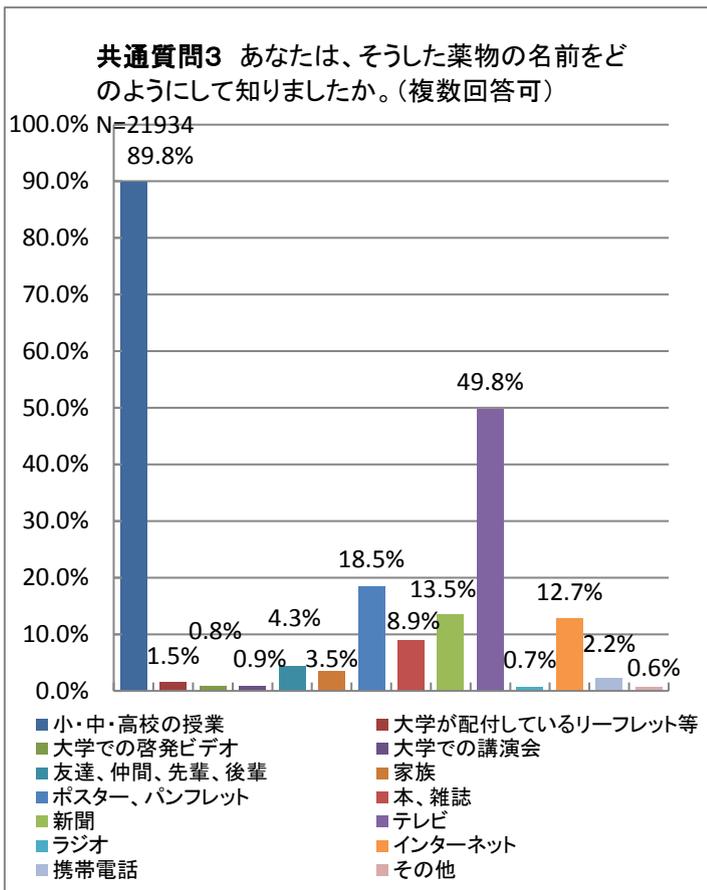
◇ 共通質問20 あなたは、いわゆる脱法ドラッグが使用されているところを直接見たことがありますか。〈テレビ、映画、報道等で見たものは除きます〉（どちらかに○）

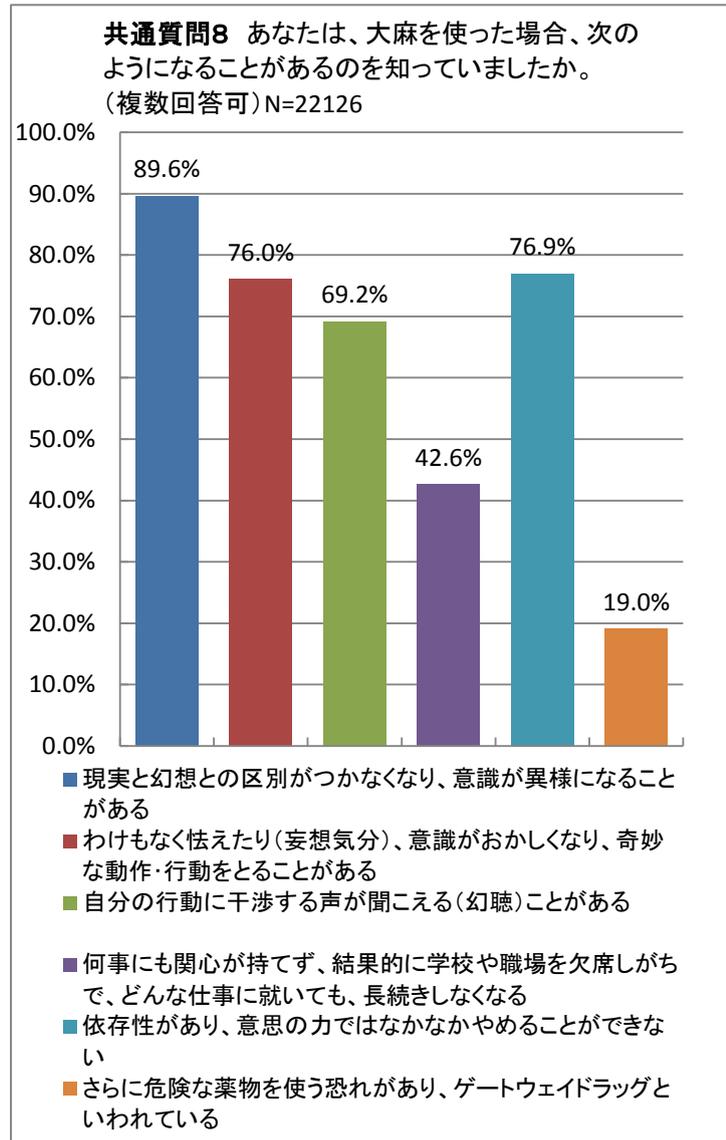
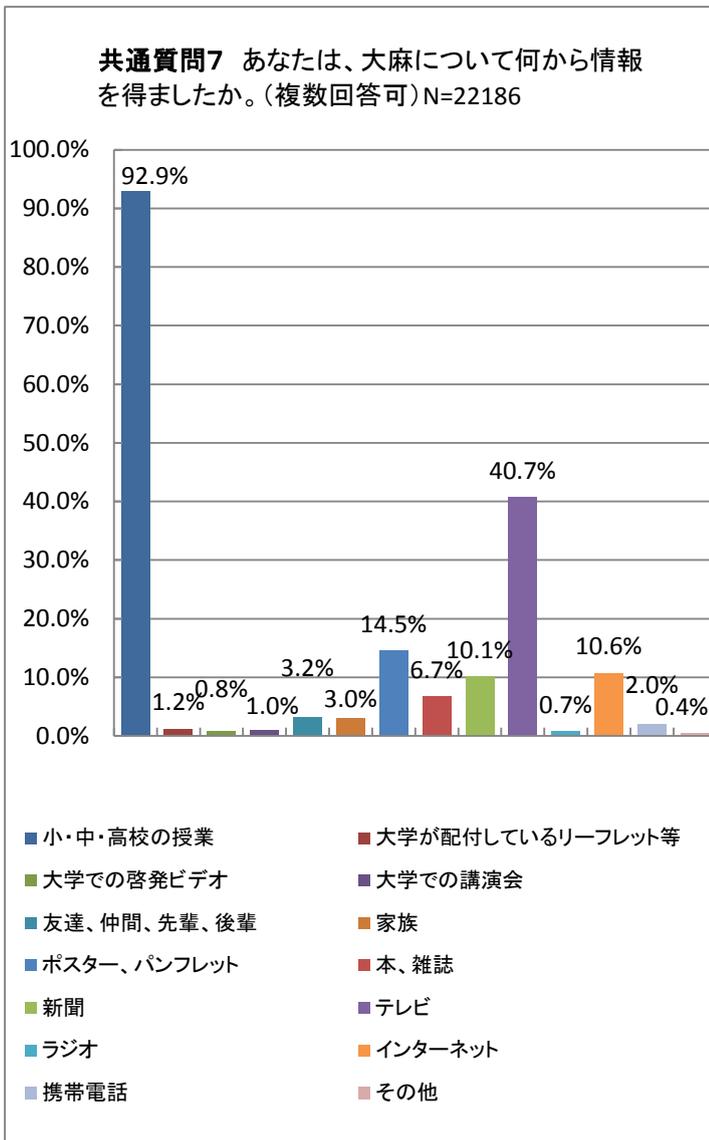
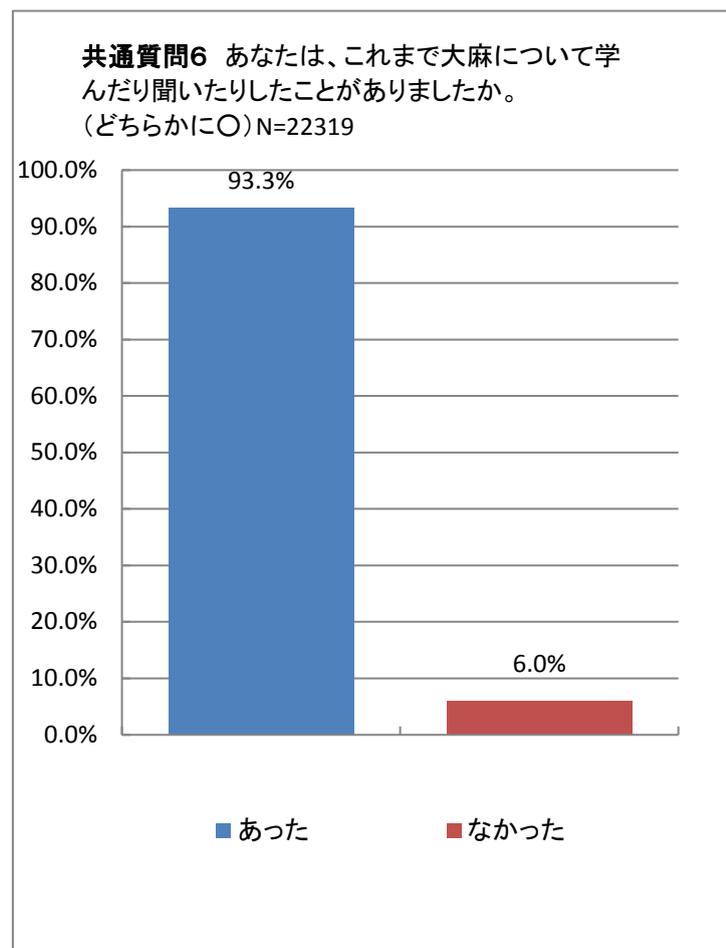
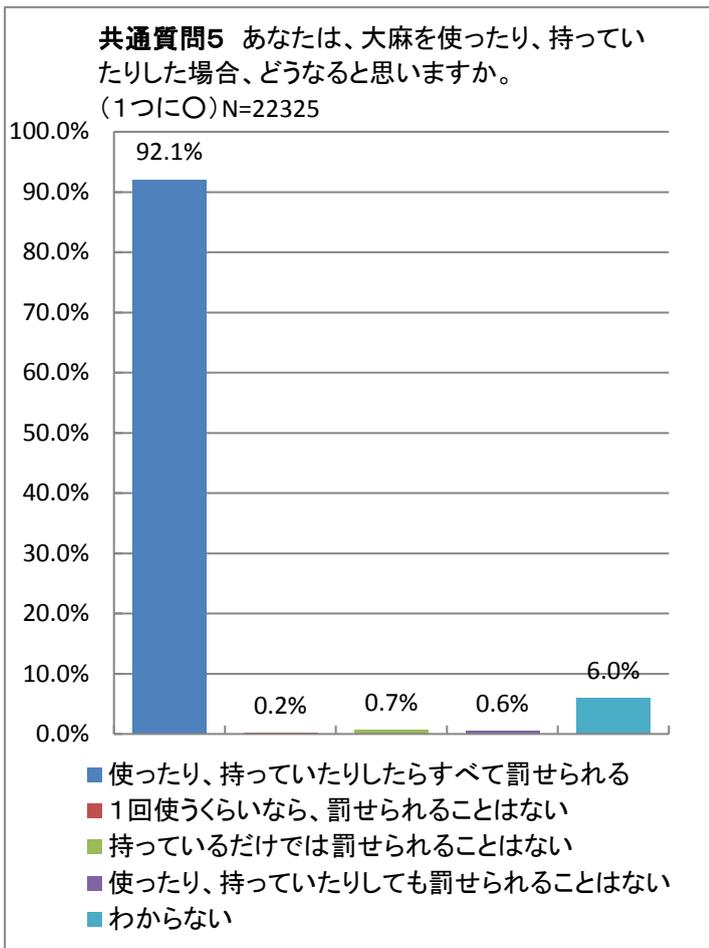
<回答> ない 94.1%（今年度より調査実施）
ある 2.7%（今年度より調査実施）

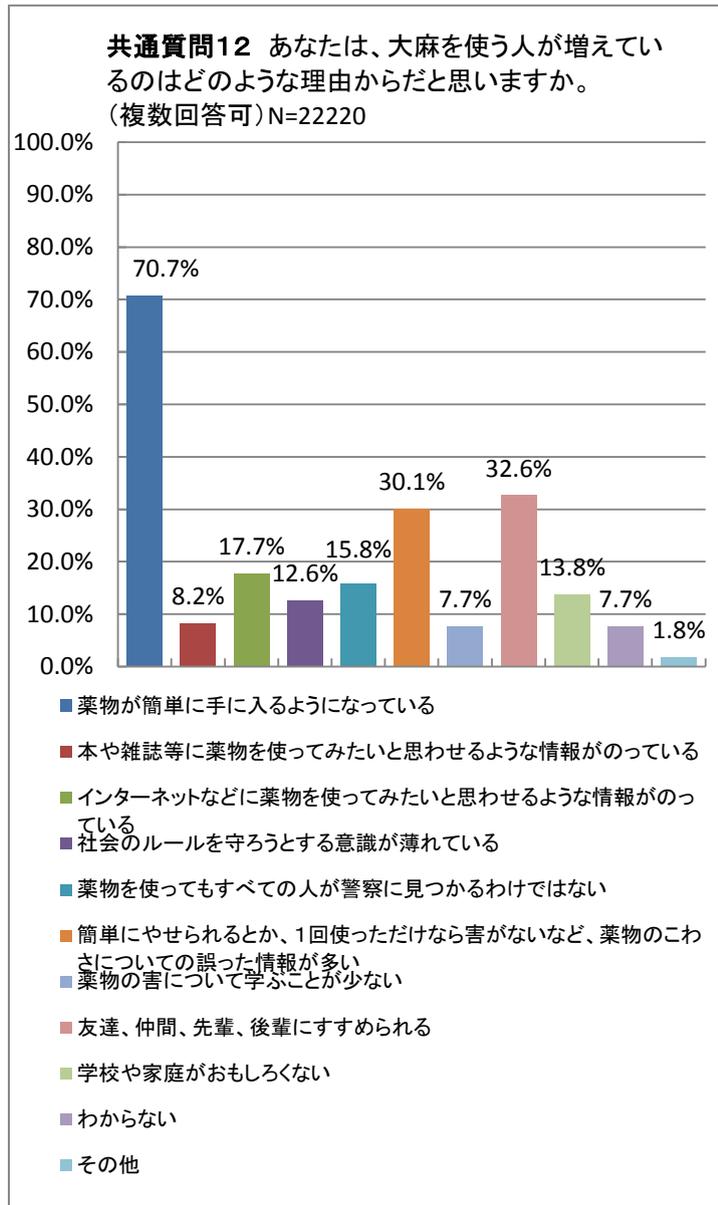
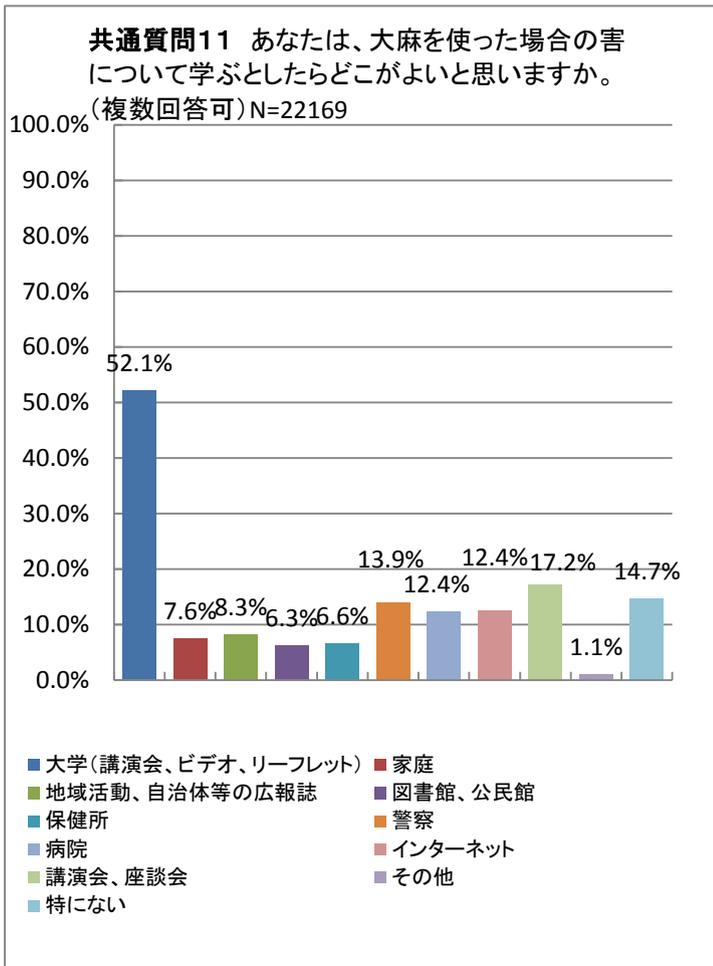
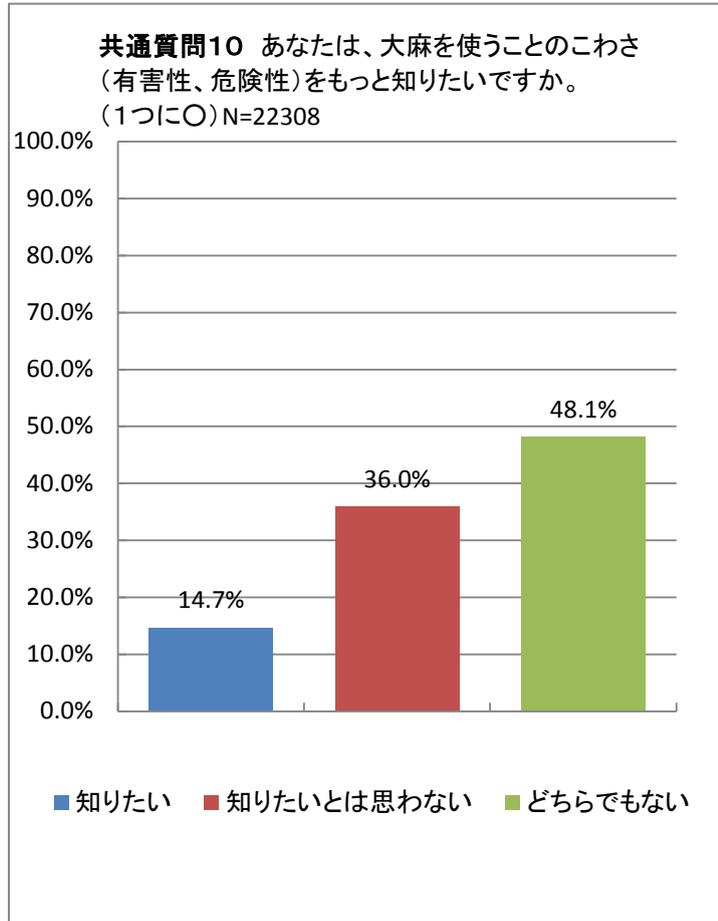
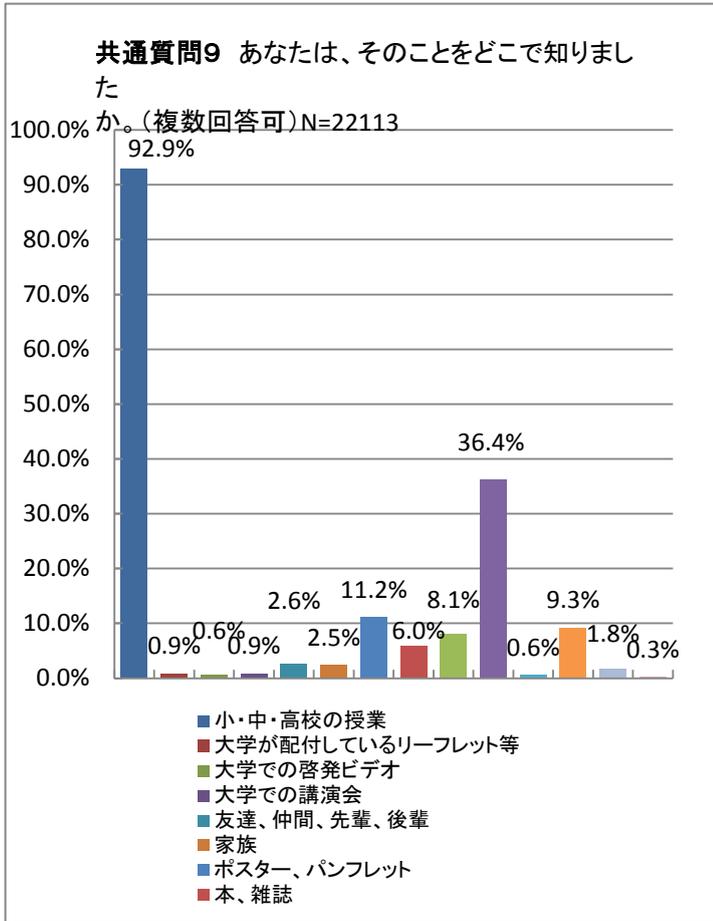
上記から、学生は脱法ドラッグを違法薬物と同等に危険な薬物であると認知していることが分かったが、一方で、使用については個人の自由であると捉える、または実際に使用しているところを目撃したことがある学生も僅かながらに存在することが分かった。本結果から、薬物乱用問題に関し、社会的にどのような話題が取り上げられ、学生はどのような情報を得ているのか、その情報源や内容を分析することで、各大学における効果的な啓発方法を検討していく必要があると考えられる。



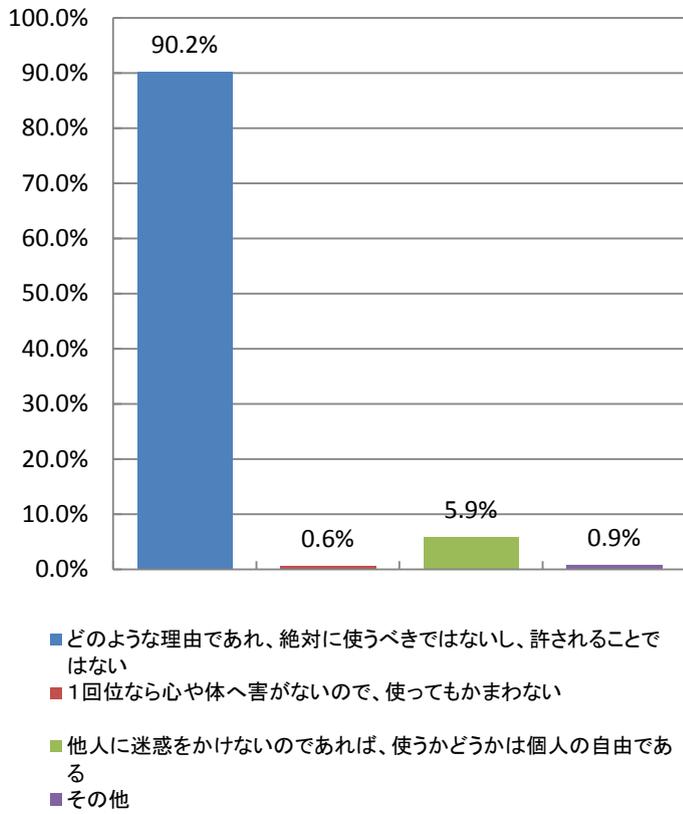
【共通質問2で「1」から「9」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。】



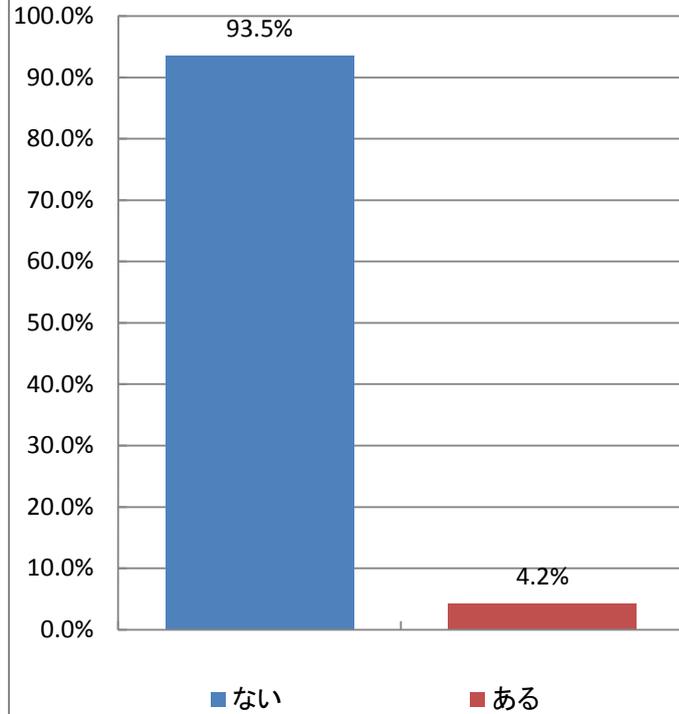




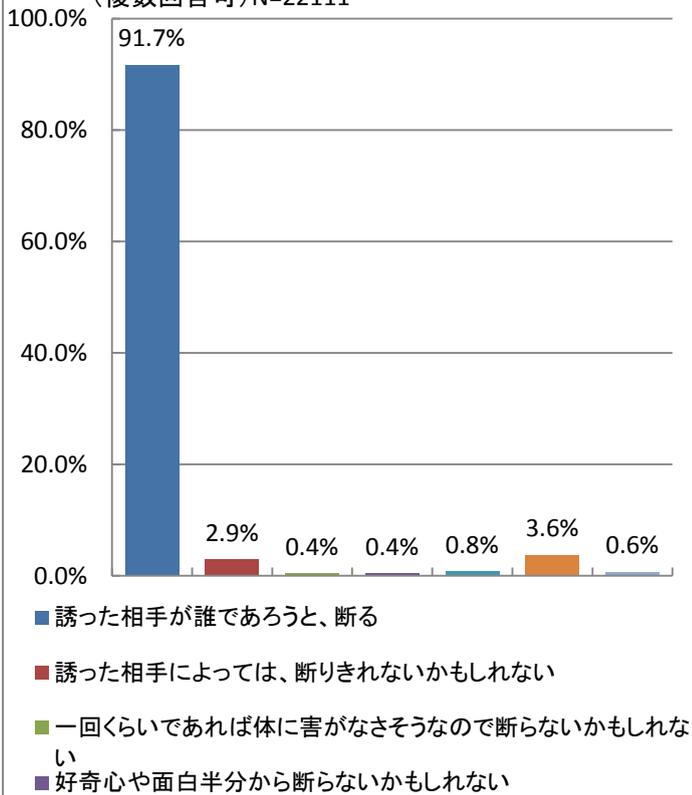
共通質問13 あなたは、大麻を使うことについてどのように考えていますか。(1つに○)N=22319



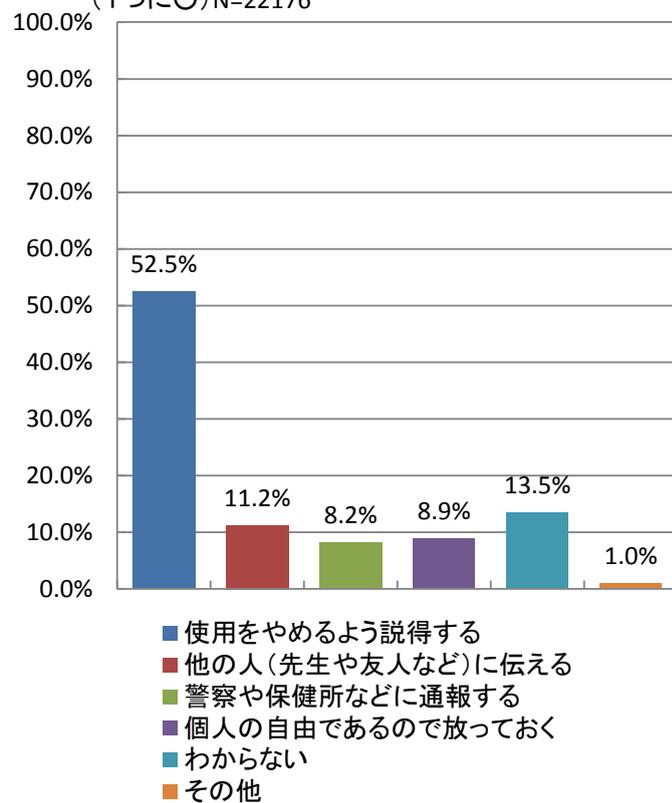
共通質問14 あなたは、大麻が使用されているところを直接見たことがありますか。
<テレビ、映画、報道等で見たものは除きます>
(どちらかに○)N=22324



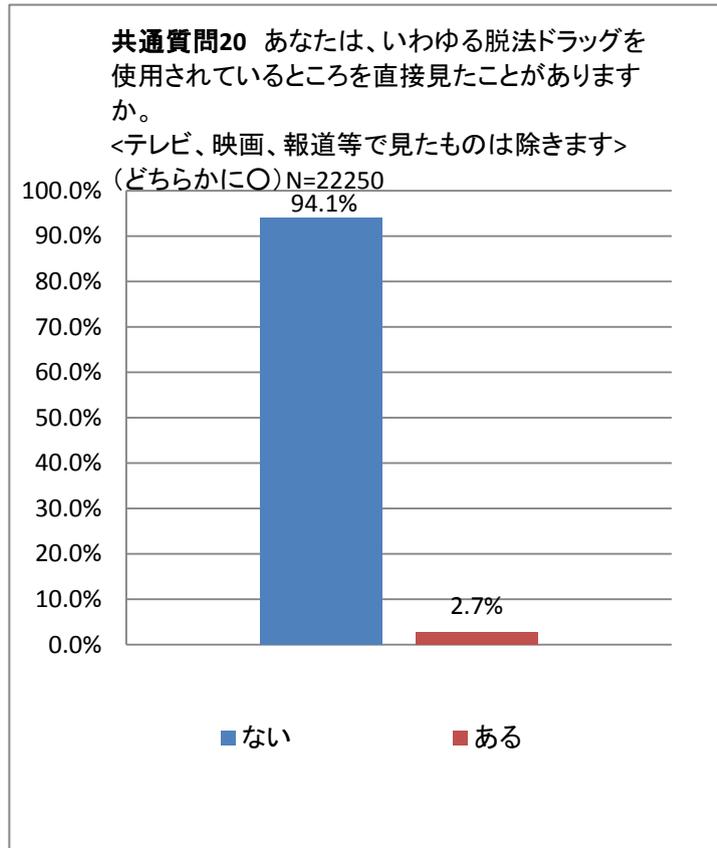
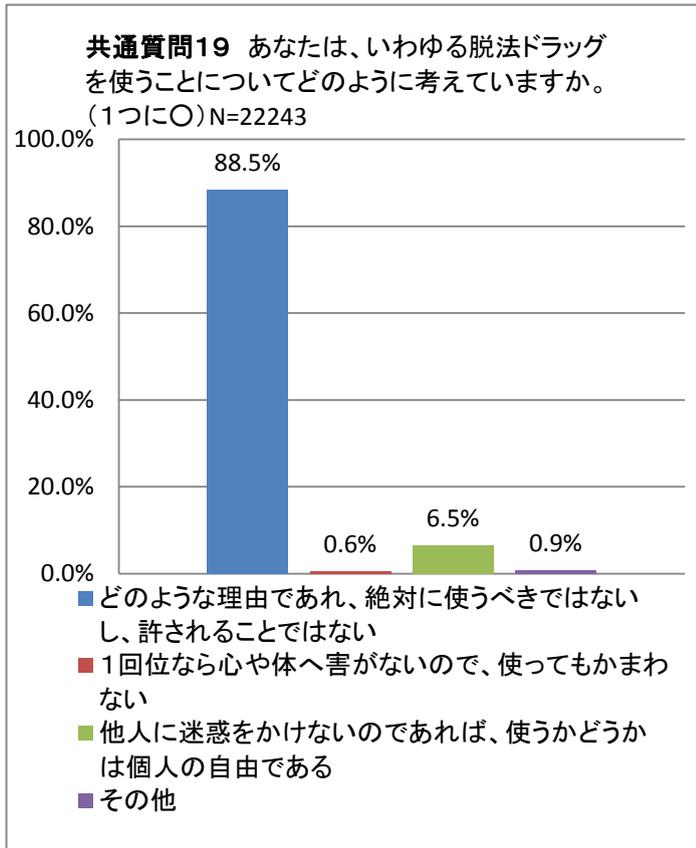
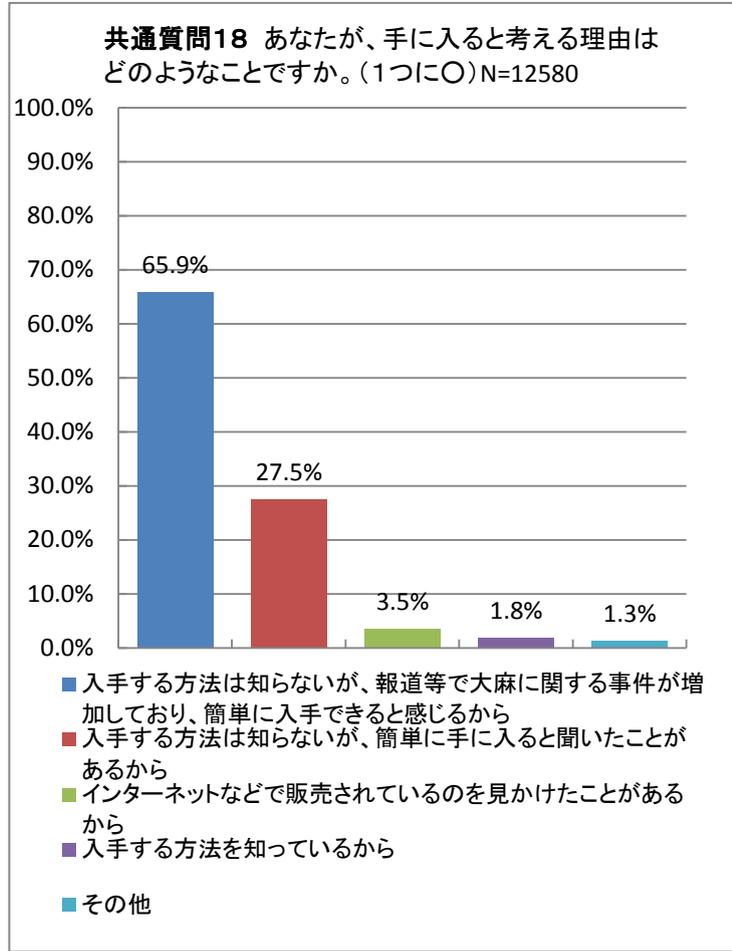
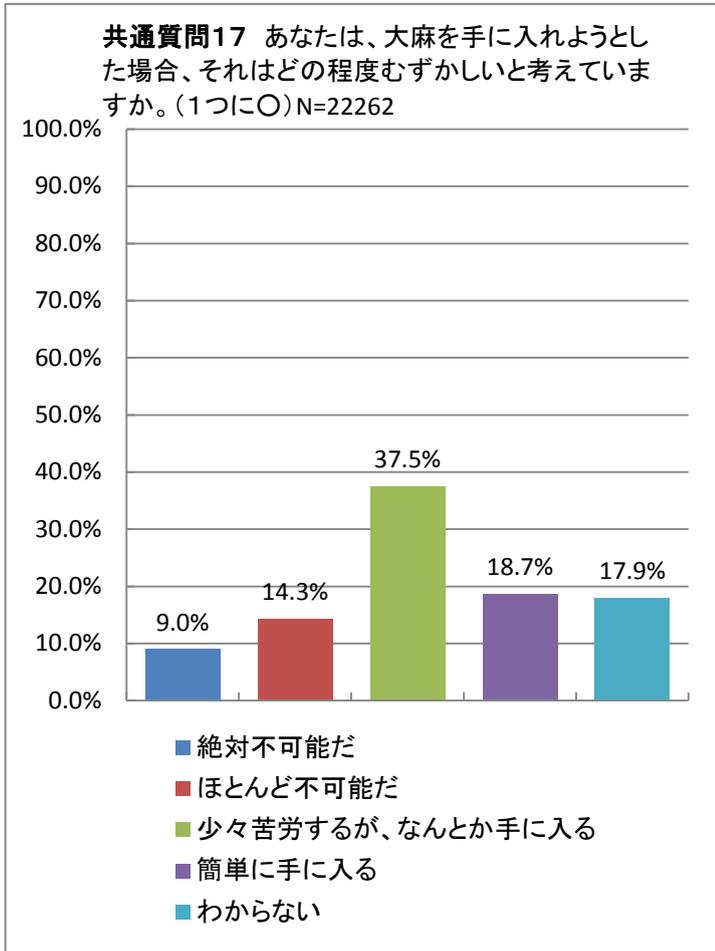
共通質問15 あなたは、大麻を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。
(複数回答可)N=22111



共通質問16 あなたは、もし友人が大麻を使用していることを知った場合、どうしますか。
(1つに○)N=22176



【共通質問17で「3」「4」に○をつけた人だけお答えください。】



2014年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」単純集計表

共通質問1 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	非常に関心がある	527	2.4%	2%
2	ある程度関心がある	5985	26.8%	27%
3	どちらともいえない	5347	24.0%	24%
4	あまり関心がない	4011	18.0%	18%
5	ほとんど関心がない	6376	28.6%	29%
	不明	77	0.3%	0%
	N(%ベース)	22323	100.0%	22246

共通質問2 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	17517	78.5%	-
2	覚せい剤(スピード、エスなど)	20314	91.1%	-
3	大麻(マリファナ、ハッシュシュなど)	20480	91.8%	-
4	麻薬	19887	89.2%	-
5	コカイン	18315	82.1%	-
6	あへん類(ヘロインなど)	11310	50.7%	-
7	LSD	4702	21.1%	-
8	MDMA(エクスタシーなど)	14297	64.1%	-
9	いわゆる脱法ドラッグ	11472	51.4%	-
10	知っているものはない	713	3.2%	-
	N(%ベース)	22306	100.0%	

【共通質問2で「1」から「9」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。】

共通質問3 あなたは、そうした薬物の名前をどのようにして知りましたか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	小・中・高校の授業	19690	89.8%	-
2	大学が配付しているリーフレット等	319	1.5%	-
3	大学での啓発ビデオ	172	0.8%	-
4	大学での講演会	189	0.9%	-
5	友達、仲間、先輩、後輩	937	4.3%	-
6	家族	764	3.5%	-
7	ポスター、パンフレット	4048	18.5%	-
8	本、雑誌	1942	8.9%	-
9	新聞	2972	13.5%	-
10	テレビ	10921	49.8%	-
11	ラジオ	146	0.7%	-
12	インターネット	2788	12.7%	-
13	携帯電話	493	2.2%	-
14	その他	124	0.6%	-
	N(%ベース)	21934	100.0%	

2014年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」単純集計表

共通質問4 あなたは、大麻についてどのような印象を持っていますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	カッコいい	79	0.4%	-
2	気持ち良くなれる気がする	872	3.9%	-
3	ダイエットに効果がある	93	0.4%	-
4	眠気覚ましに効果がある	130	0.6%	-
5	1回使うくらいであれば、心や体への害はない	111	0.5%	-
6	心や体に害がある	12331	55.3%	-
7	犯罪に巻き込まれる	10649	47.8%	-
8	使ったり、持っていたりするの悪いことだ	12680	56.9%	-
9	1回でも使うと止められなくなる	12883	57.8%	-
10	特にない	3262	14.6%	-
	N(%ベース)	22280	100.0%	

共通質問5 あなたは、大麻を使ったり、持っていたりした場合、どうなるとお考えですか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられる	20562	92.1%	93%
2	1回使うくらいなら、罰せられることはない	40	0.2%	0%
3	持っているだけでは罰せられることはない	161	0.7%	1%
4	使ったり、持っていたりしても罰せられることはない	123	0.6%	1%
5	わからない	1335	6.0%	6%
	不明	104	0.5%	0%
	N(%ベース)	22325	100.0%	22221

共通質問6 あなたは、これまで大麻について学んだり聞いたりしたことがありましたか。(どちらかに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	あった	20827	93.3%	94%
2	なかった	1330	6.0%	6%
	不明	162	0.7%	1%
	N(%ベース)	22319	100.0%	22157

2014年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」単純集計表

共通質問7 あなたは、大麻について何から情報を得ましたか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	小・中・高校の授業	20619	92.9%	-
2	大学が配付しているリーフレット等	265	1.2%	-
3	大学での啓発ビデオ	172	0.8%	-
4	大学での講演会	212	1.0%	-
5	友達、仲間、先輩、後輩	706	3.2%	-
6	家族	656	3.0%	-
7	ポスター、パンフレット	3213	14.5%	-
8	本、雑誌	1483	6.7%	-
9	新聞	2240	10.1%	-
10	テレビ	9022	40.7%	-
11	ラジオ	157	0.7%	-
12	インターネット	2360	10.6%	-
13	携帯電話	447	2.0%	-
14	その他	91	0.4%	-
	N(%ベース)	22186	100.0%	

共通質問8 あなたは、大麻を使った場合、次のようになることがあるのを知っていましたか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある	19825	89.6%	-
2	わけもなく怯えたり(妄想気分)、意識がおかしくなり、奇妙な動作・行動をとることがある	16822	76.0%	-
3	自分の行動に干渉する声が聞こえる(幻聴)ことがある	15303	69.2%	-
4	何事にも関心が持てず、結果的に学校や職場を欠席しがちで、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる	9427	42.6%	-
5	依存性があり、意思の力ではなかなかやめることができない	17014	76.9%	-
6	さらに危険な薬物を使う恐れがあり、ゲートウェイドラッグといわれている	4214	19.0%	-
	N(%ベース)	22126	100.0%	

共通質問9 あなたは、そのことをどこで知りましたか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	小・中・高校の授業	20542	92.9%	-
2	大学が配付しているリーフレット等	204	0.9%	-
3	大学での啓発ビデオ	141	0.6%	-
4	大学での講演会	201	0.9%	-
5	友達、仲間、先輩、後輩	583	2.6%	-
6	家族	546	2.5%	-
7	ポスター、パンフレット	2479	11.2%	-
8	本、雑誌	1322	6.0%	-
9	新聞	1788	8.1%	-
10	テレビ	8041	36.4%	-
11	ラジオ	142	0.6%	-
12	インターネット	2051	9.3%	-
13	携帯電話	391	1.8%	-
14	その他	76	0.3%	-
	N(%ベース)	22113	100.0%	

2014年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」単純集計表

共通質問10 あなたは、大麻を使うことのこわさ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	知りたい	3286	14.7%	15%
2	知りたいとは思わない	8036	36.0%	36%
3	どちらでもない	10740	48.1%	49%
	不明	246	1.1%	1%
	N(%ベース)	22308	100.0%	22062

共通質問11 あなたは、大麻を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	大学(講演会、ビデオ、リーフレット)	11558	52.1%	-
2	家庭	1679	7.6%	-
3	地域活動、自治体等の広報誌	1843	8.3%	-
4	図書館、公民館	1393	6.3%	-
5	保健所	1472	6.6%	-
6	警察	3078	13.9%	-
7	病院	2741	12.4%	-
8	インターネット	2760	12.4%	-
9	講演会、座談会	3805	17.2%	-
10	その他	250	1.1%	-
11	特にない	3263	14.7%	-
	N(%ベース)	22169	100.0%	

共通質問12 あなたは、大麻を使う人が増えているのはどのような理由からだと思えますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	薬物が簡単に手に入るようになっている	15710	70.7%	-
2	本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	1833	8.2%	-
3	インターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	3940	17.7%	-
4	社会のルールを守ろうとする意識が薄れている	2799	12.6%	-
5	薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない	3509	15.8%	-
6	簡単にやせられるとか、1回使っただけなら害がないなど、薬物のこわさについての誤った情報が多い	6683	30.1%	-
7	薬物の害について学ぶことが少ない	1701	7.7%	-
8	友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる	7247	32.6%	-
9	学校や家庭がおもしろくない	3058	13.8%	-
10	わからない	1713	7.7%	-
11	その他	394	1.8%	-
	N(%ベース)	22220	100.0%	

共通質問13 あなたは、大麻を使うことについてどのように考えていますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	20132	90.2%	93%
2	1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	125	0.6%	1%
3	他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	1312	5.9%	6%
4	その他	195	0.9%	1%
	不明	555	2.5%	3%
	N(%ベース)	22319	100.0%	21764

2014年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」単純集計表

共通質問14 あなたは、大麻が使用されているところを直接見たことがありますか。〈テレビ、映画、報道等で見たものは除きます〉(どちらかに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	ない	20870	93.5%	96%
2	ある	945	4.2%	4%
	不明	509	2.3%	
	N(%ベース)	22324	100.0%	21815

共通質問15 あなたは、大麻を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	誘った相手が誰であろうと、断る	20274	91.7%	-
2	誘った相手によっては、断りきれないかもしれない	639	2.9%	-
3	一回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない	79	0.4%	-
4	好奇心や面白半分から断らないかもしれない	85	0.4%	-
5	悩み事があったり、疲れていたりしたら断らないかもしれない	166	0.8%	-
6	わからない	804	3.6%	-
7	その他	143	0.6%	-
	N(%ベース)	22111	100.0%	

共通質問16 あなたは、もし友人が大麻を使用していることを知った場合、どうしますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	使用をやめるよう説得する	11637	52.5%	55%
2	他の人(先生や友人など)に伝える	2490	11.2%	12%
3	警察や保健所などに通報する	1819	8.2%	9%
4	個人の自由であるので放っておく	1970	8.9%	9%
5	わからない	2995	13.5%	14%
6	その他	216	1.0%	1%
	不明	1049	4.7%	5%
	N(%ベース)	22176	100.0%	21127

共通質問17 あなたは、大麻を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいと考えていますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	絶対不可能だ	1995	9.0%	9%
2	ほとんど不可能だ	3179	14.3%	15%
3	少々苦勞するが、なんとか手に入る	8346	37.5%	39%
4	簡単に手に入る	4157	18.7%	19%
5	わからない	3988	17.9%	18%
	不明	597	2.7%	3%
	N(%ベース)	22262	100.0%	21665

【共通質問17で「3」「4」に○をつけた人だけお答えください。】

共通質問18 あなたが、手に入ると考える理由はどのようなことですか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	入手する方法は知らないが、報道等で大麻に関する事件が増加しており、簡単に入手できると感じるから	8288	65.9%	66%
2	入手する方法は知らないが、簡単に手に入ると聞いたことがあるから	3458	27.5%	27%
3	インターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから	445	3.5%	4%
4	入手する方法を知っているから	227	1.8%	2%
5	その他	162	1.3%	1%
	N(%ベース)	12580	100.0%	12580

2014年度 関西4大学「薬物に関する意識調査」単純集計表

共通質問19 あなたは、いわゆる脱法ドラッグを使うことについてどのように考えていますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	19677	88.5%	92%
2	1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	134	0.6%	1%
3	他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	1456	6.5%	7%
4	その他	201	0.9%	1%
	不明	771	3.5%	4%
	N(%ベース)	22243	100.0%	21468

共通質問20 あなたは、いわゆる脱法ドラッグが使用されているところを直接見たことがありますか。(テレビ、映画、報道等で見たものは除きます。)(どちらかに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	ない	20942	94.1%	97%
2	ある	594	2.7%	3%
	不明	714	3.2%	3%
	N(%ベース)	22250	100.0%	21536